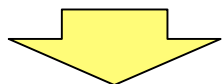


# 東京工業大学産学連携ビジョン (2007年10月策定) 概要

## これまでの東工大産学連携活動

産学連携推進本部を一元的な窓口として、知的財産の管理・活用、及び、受託・共同研究の創出・運営支援を積極的に実施して、着実に実績を重ねている。既存の産学連携活動が定常的安定状態に入りつつある一方、学外TLOを産学連携推進本部へ統合した。これらを踏まえて、産学連携活動を再考し新たな展開を図る。



素案を公表し、産業界との意見交換会等の場で議論を行い、修正を加え、とりまとめた。

## これからの東工大産学連携の基本方針

理工系総合大学としての強みを生かし、本学の各部局が認識を共有しつつ、それぞれが有機的連携の下に、多様で拡がりのある産学連携活動を行う。産学連携推進本部は、学外からの産学連携活動への要請に対応する一元的窓口として機能する。

### 1. 企業との連携を基本とした「政府・公的機関等とも協働する産学官連携の推進」

政策的に重要課題や中長期的な研究開発課題に対して、企業との連携を基本としつつ、政府・公的機関等とも協働する。

### 2. 研究協力を留まらない「教育・人材交流を交えた産学連携の推進」

企業等の研究開発現場との連携を密にして、研究協力を留まることなく、教育・人材交流を交えた産学連携を推進する。

### 3. 国内機関との連携に限らない「国際的な産学官連携の推進」

本学としての国際的産学連携の考え方を明確にした上で、効果的かつ効率的に、国際的な産学官連携を展開する。

### 4. 異なる学問領域・研究分野が協働する「異分野協働型の産学連携の推進」

研究課題の多様化に対応すべく、異なる自然科学間や自然・人文・社会科学が協働する産学連携の可能性を探索する。

### 5. シーズ・ニーズマッチング型課題解決に加え「本格的イノベーションを目指す産学官連携の推進」

本格的イノベーションを目指す多様な関係者との連携を強化し、オープンなイノベーション創出の場として本学を進化させる。